

## 2-3. みどりの重点施策に対する数値目標の修正

基本方針に基づく各種施策の内、重点的に取り組む施策の進行管理を実施するための成果目標を設定します。

### ① 民有地緑化によるみどりの創出に関する数値目標

身近なみどりを量・質ともに向上させるための「(仮称)民有地の緑化の手引き」を策定し、支援策により住宅等の沿道部が緑化された件数や、都市廊政策における街なか緑化事業について、数値目標として設定します。

目標	計画策定時現況 平成26年度 (2014年)	現況 令和2年度 (2020年)	中間年次 令和7年度 (2025年)	目標年次 令和17年度 (2035年)
支援策により住宅等の沿道部が緑化された件数	0 件	44 件	75 件	150 件
都市廊政策における街なか緑化事業が実施された延長	0.2 km	0.7 km	1.8 km	3.0 km

### ② 街路樹の再整備によるみどりの質の向上に関する数値目標

本市が管理する道路に沿った街路樹(延長約15km)は、落葉や鳥の集団ねぐら対策のため、毎年剪定が必要な路線が約4kmあります。こうした状況をふまえ、「(仮称)街路樹の整備・維持管理ガイドライン」を策定し、沿道住民等との調整を経て、街路樹としての機能の維持や景観の向上、維持管理の負担減が見込める樹種へ計画的に更新を行う延長を数値目標として設定します。

目標	計画策定時現況 平成26年度 (2014年)	現況 令和2年度 (2020年)	中間年次 令和7年度 (2025年)	目標年次 令和17年度 (2035年)
街路樹を再整備した延長	0.0 km	0.0 km	2.0 km	4.0km

### ③ 身近な公園で活動する団体に関する数値目標

本市の街区公園など身近な公園(令和3年11月末現在139箇所)を対象として、地域と市との協働でプロデュースし、自主的な管理も含めて公園を運営していただくことで、愛着をもって利用できる身近な公園の拡充を目指し「身近な公園プロデュース団体の活動公園数」を数値目標として設定します。

目標	計画策定時現況 平成26年度 (2014年)	現況 令和2年度 (2020年)	中間年次 令和7年度 (2025年)	目標年次 令和17年度 (2035年)
身近な公園プロデュース団体の活動公園数	13 公園 (1割)	56 公園 (約4.0割)	100公園 (約7.2割)	125 公園 (約9.0割)

\* 下段( )内は、身近な公園の数に対するプロデュース団体の活動公園数の割合

#### ④ ふるさとみどり基金に関する数値目標

人口減少や財政規模の縮小を見据え、みどりを持続可能なものにしていくために、施設・資金・ひとをマネジメントの資源として捉え、その仕組みづくりに取り組む必要があります。

その中でも、ふるさとみどり基金の運用の見直しや基金をベースとした資金循環の仕組みづくりは、みどりの保全・創出・育成のなかで大きな役割を担います。

そこで基金の認知度の向上もふまえ、基金の内、市民や企業、団体等からの寄附金総額を数値目標として設定します。

目標	計画策定時現況 平成26年度 (2014年)	現況 令和2年度 (2020年)	中間年次 令和7年度 (2025年)	目標年次 令和17年度 (2035年)
ふるさとみどり基金 市民等からの寄附金総額	1.59 億円	1.68 億円	1.81 億円	2.12 億円